

(毎月三日六日九日十一日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十三年五月八日星期三

縣報 第二百九十六號 明治卅七年二月二十七日 和歌山縣

公文

○和歌山縣訓令第九號

郡役所 市役所 町役所 市町村立小學校

職地ニ於ケル勤務ニ起因シ死去セラル者ノ遺族ニ對シ町村立小學校ニ於テ授業料ヲ減免
スベキコトハ既ニ明治二十九年訓令第五號ニ其ノ規定アリ今回ノ事變ニ際シ此ノ趣旨ヲ擴
充シ出征又ハ應召軍人ノ子女ニ對シ事情ノ許ス限リ其ノ授業料ヲ減免シ又ハ學用品ヲ給與
スル等ノ方法ヲ設ケ以テ軍人ヲサテ後顧ノ慮ナカラシムベシ
軍費供給ノ必要ハ教育費ニモ影響ヲ及ボシ新事業又ハ設備等ニ關シ一時ノ緊縮ヲ來スハ己
ムヲ得スト雖モ之レカ爲ニ職員ノ俸給ヲ削減シ又ハ兒童ノ就學數ヲ減少シ其ノ他教育ノ効
果ヲ減退セシムルガ即チハ國力發展ノ基礎ヲ傷損スルモノナレハ努メテ之レヲ避ケアルベ
カラス而シテ經濟上ノ節約ヲ圖ラシメ爲メニハ二種教授ノ法ヲ採ル等臨機應宜ノ方法ヲ講

和歌山縣訓令第九號 明治三十七年二月廿七日 第三種郵便物認可

明治三十七年二月二十三日 和歌山縣知事 伯耆 清 兼 家 敬

○和歌山縣告示第五十四號

明治三十六年四月本縣告示第一百號暴風警報指示場ヲ左ノ通り追加シ及全年全月本縣告示
第一百十一號地方天氣豫報ヲモ指示ス
前項ノ指示ハ本年三月一日ヨリ實施ス

明治三十七年二月廿四日

和歌山縣知事 伯備 清 棧 家 敷

海草郡宮前村大字手平海草郡役所指示場

全 郡澗村大字澗字青岸水上巡查派出所

全 郡和歌浦町第一巡查駐在所

全 郡川永村大字川邊和歌山警察署川永分署指示場

那賀郡岩田村大字清水岩田警察署指示場

全 郡粉河町大字粉河岩田警察署粉河分署指示場

伊都郡橋本町大字橋本橋本警察署指示場

全 郡妙寺村大字妙寺橋本警察署妙寺分署指示場

○和歌山縣告示第五十五號

明治三十六年四月本縣告示第一百號但書ノ全國暴風警報及全年全月本縣告示第一百十一號但
書ノ全國天氣豫報ハ來ル三月一日ヨリ左ノ二個所ニモ之ヲ指示ス

明治三十七年二月二十四日

和歌山縣知事 伯備 清 棧 家 敷

日高郡御坊町日高郡役所指示場

縣第二九十六號

明治三十七年二月廿七日

第三種郵便物認可

二

西牟婁郡串本町全町役場指示場

○和歌山縣告示第五十六號

明治三十七年度和歌山縣歲入歳出豫算更正ノ爲來ル三月十日午前九時ヲ以テ臨時縣會ヲ召
集ス

明治三十七年二月廿四日

和歌山縣知事 伯備 清 棧 家 敷

○和歌山縣告示第五十七號

左記狩獵免狀遺失ノ旨届出シ

明治三十七年二月廿五日

和歌山縣知事 伯備 清 棧 家 敷
和歌山縣那賀郡澗村大字上番七百七十番地
平民

向 井 芳 次 郎

明治十六年十一月生

第三四三號

一乙種三等狩獵免狀

明治三十六年十二月十七日下附

右明治三十七年二月八日那賀郡澗村大字上番ニ下番ニ至ルノ間ニ於テ遺失セリ

○和歌山縣告示第五十八號
左記狩獵免狀遺失ノ旨届出シ

明治三十七年二月廿五日

和歌山縣知事 伯耆 清 様 家 敬

和歌山縣東牟婁郡色川村大字口色川
三千四百三十五番地平民 廣

立 渡 由 太 郎

明治十五年五月生

第一七六八號

一乙種三等持渡免狀

右本年二月六日色川村大字口色川宇東山及下平ヲ經テ號九ニ至リ間ニ於テ遺失セリ

○和歌山縣告諭第一號

宣戰の 大詔下りてより國民奉公の熱誠は今や現實に現れし軍國に處すへき時亦各盡
策する所あるべしと雖も兵食の充實は最も急務なるが故に内に在りては生産に従
事する者は益々奮勵して十二分の勤勉と盡心とに依り富力の増進を努めらるべからず
農家が特に至重の注意を要するものあり
米麥は日常必須の糧食にして戰時に在りては殊に其供給と確保とせざるべからず然るに客年
に於て麥作の凶歉に隨ぎ米作は天候適順なりしに拘らず蟲害の爲め米塵を充す能はざりし

縣報第二百九十六號

明治三十七年二月廿七日

第三種郵便物認可

三

が如き未だ勤勉の實績を認め難し農家たるもの若し夫れ出征將卒が奮戰の勤勞を想はし今
日より以後夙夜匪懈全力を盡して米麥並收を得るの覺悟なかるべからず而して此際最も注
意すべき事項は第一害蟲の驅除防にして本年は貴重の穀物一粒だも之に侵蝕されざるの
用意を爲すべく第二肥料に付ては田畑の表面に大豆豌豆豆の如き豆科植物を蒔くことを精
利して本年稻田の緑肥と爲すの法を普及すると共に秋季に至らば燕麥及首宿と栽植して
堆肥の製造を増加改良する等肥料の供給と豊富ならしむべく第三麥作收穫の時期を誤ら
ず且乾燥を完更ならしむべし其他農に農商大匠より農會に勧進せられたる事項は總て之
が履行を勵むべし

明治三十七年二月廿五日

和歌山縣知事 伯耆 清 様 家 敬

○町村長ノ異動

伊都郡鹿野村長 谷澤 彦 右衛門

右二月廿三日認可

○觀 測

明治三十三年五月八日第三號郵便物可

明治三十七年二月廿二日		二月廿三日		二月廿四日	
種	類	前	年	前	年
平均氣壓	七六二耗八	七六二耗七	七六八耗二	七六七耗五	七六九耗七
平均氣溫	五度二	八度一	三度〇	五度七	四度〇
最高氣溫	九度〇	一度四	六度六	一度五	一度五
最低氣溫	二度〇	二度八	〇度二	〇度八	〇度以下
最多風向	北西	北々西	北々西	北東	〇度一
平均風力	五米九	三米三	四米一	二米五	二米八
天氣	半晴小雨	晴	半晴小雪	晴	晴
雨雪量	〇耗〇	〇耗一	〇耗〇	結霜アリ	結霜アリ
記事	午前十時 四十四分	午前三時 五十分	午前九時 三十九分	結霜アリ	結霜アリ

照報第一九十六號 明治三十七年二月廿七日 第三號郵便物可 四紙

〇二二分 間及夕刻 雨	〇全四時 十分迄 雨	〇午後 一時五十 五分迄 風			
	午前九時 廿三分迄 上風雨ノ 雪報アリ				

（毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行）
 明治三十七年二月廿六日
 和歌山縣
 和歌山市十二番丁十三番地
 和歌山郵便局